

「課題克服のためにプラン（計画）をたてる」

病院に受診する際に、医師から検査や投薬、手術など、治療プランを説明される光景を目にします。病院の医師は、受診患者さんに対し、SOAP という経過記録をつけていきます。治療へのプランをたてるものです。サッカーでも、チームや選手個人の力をつける為に、経過記録をつけていきます。そのために指導計画やサッカーノートへの記述があります。

病院での SOAP

サッカーでの SOAP

S (Subjective) 患者さんの訴え

サッカーでいうと選手の課題

O (Objective) 診察所見・検査結果

サッカーでいうと監督の見立て、選手の分析結果

A (Assesment) 医師の推察・考察

サッカーでいうと指導者の推測・考察

P (Plan) 計画

サッカーでいうと指導計画

	病院のあるカルテ（治療計画）	サッカーでいうと（指導計画）
S (Subjective) 訴え 課題	#呼吸苦 #現在の病歴 数年前から、仕事時に呼吸苦あり。昨日から発熱、呼吸苦あり。 #既往歴 高血圧、白内障	#パスがうまく繋がらない #現在の個人ちから 動きながらのインサイドパスが苦手な選手がいる。
O (Objective) 診察所見 検査結果 チーム所見 個人所見	#身体所見 BT（体温）39.1℃、RR（呼吸数）24 SPO2（酸素飽和度）93% BP（血圧）90-60 聴診にて両下肺野にて Wheeze あり #検査所見 XP（レントゲン）にて右下肺野に肺炎像あり。 炎症反応高値。CO2 貯留あり。	#チーム所見 仲間同士、ミスをするとなマイナス的な言葉を発する。 #選手個人の所見 プレッシャーに弱く、自分より体格のよい選手を前になると、判断に迷いがある。
A (Assesment) 見立て	#肺炎疑い	#インサイドパスの習得が必要
P (Plan) 治療計画 指導計画	#抗生物質による治療を行う。 ご高齢で一人暮らしのため、入院加療を勧めたい。院内相談員と連携を図り、社会復帰への支援を行う。 ケースワーカーによる支援を行う。 継続的な治療が必要なため、退院後も通院して体調管理をしていく。 往診も視野に。	#チーム練習 練習内容に変化をつける。 →動きながらの練習や、少人数でのパス回しから始め、慣れ次第、課題を増やしていく。 #選手個人へのアプローチ 小さなことから褒め、自信をつけていく。 個別練習を行い・・・(など)

左は、ある医師が書いたカルテ（中途）の一例です。右は、ある監督が書いた指導計画の一つです。それぞれの場所（社会）で、課題があります。それを良くするために、「課題」を見つけ「分析」し、「何が必要か」を考えていくことが必要ということです。「課題」→「分析」→「手立て」→「結果」につながります。これから、生きていく中で、様々な課題が生まれると思います。「SOAP」を元に、考えてみてはどうでしょうか。ある監督の「SOAP」を紹介させていただきました。